

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	農政係	牟田口政和
直通番号・内線	942-1120	365

(政策体系図)

基本目標	01	活気にぎわいあふれるまちづくり
政策	01	農林業の振興
施策	02	農地の保全
基本事業名	06	耕作放棄地対策事業

事業概要	
対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
耕作放棄地の所有者 農業委員会 農業再生協議会	市内全域における農地パトロールの充実 耕作放棄地の解消と優良農地の確保
事業内容	
<p>●農業委員会が毎年実施している農地パトロールを充実させるために雇用対策基金事業費を用いて失業者を3名雇用し、特に市街化区域内の農地の現状を把握し、耕作放棄地や違反転用の早期発見を図る。 雇用期間 平成23年10月1日～平成24年3月31日 調査区域 市街化区域内の登記地目田又は畑</p> <p>●農地パトロール 実施主体 農業委員会 実施区域 農業振興地域内の田 平成23年度の農地パトロールの結果 農地パトロール実施結果、発見された耕作放棄地は、全体農地面積約740haの約2%にあたる14.2haであったが、農業委員会の指導により、その内約3.7haが解消された。</p> <p>●農業再生協議会において草刈機の貸し出し、維持、管理をしていただいている。農業委員会が農地パトロールで発見した耕作放棄地の所有者に対して、農地法第30条第3項に基づき指導すると共に、草刈機の貸し出しを進めている。</p>	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）	
<p>平成22年3月30日に策定された新たな食料・農業・農村計画において、国は耕作放棄地を解消することで優良農地を確保し、農地を有効的に利用していくことが重要であると示している。耕作放棄地の解消については、国・県・市町村・農業委員会が協力し実施していくことが重要であり、これまでも積極的に取り組んできた。しかし、農業従事者の減少が原因で耕作放棄地が増加している。耕作放棄地解消の第一歩として、古賀市全域の農地一筆毎の状況を把握することが重要である。</p> <p>これまで古賀市では、市農業委員会が毎年実施する農地パトロールにて古賀市内平野部の農地情報は把握してきたが、古賀市全域における農地情報となると調査が実施できず未だに乏しいのが現状である。古賀市としては、市全域の農地情報を基本とした耕作放棄地の解消に向けた取り組みを農業委員会と共に展開する必要がある。</p> <p>耕作放棄地は、今後も増加するおそれがある。現在、国における耕作放棄地再生事業緊急対策交付金を用いて耕作放棄地対策事業を実施しているが、耕作放棄地を再生し営農していくには個人による短期的な取り組みではなく、組織的かつ長期的な事業展開を図る必要がある。将来において、これ以上耕作放棄地を増やさない、優良農地を確保していくために市、市農業委員会を中心として各種農業団体と連携を図りながら新たな対策を構築する必要がある。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
				規模	経費			
<p>※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小</p>								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	農政係	牟田口政和
直通番号・内線	942-1120	365

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	01	農林業の振興
施策	02	農地の保全
基本事業名	06	耕作放棄地対策事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前			事後評価			貢献度	補 足			
		優先順位	必要性	効率性	方向性							
					規模	経費						
耕作放棄地対策事業費	前々年度							前々年度事後評価				
	人工数	0.0000							前年度事後評価			
	新規	経常的経費	枠外									
	平成23年度	～										
	401000	建設産業部・農林振興課	1	4	4	3	3			3		
	前々年度										前年度事後評価	
	前年度											
	現年度											
	前々年度											現年度事前評価
	前年度											
	現年度											
	前々年度											
前年度												
現年度												
前々年度								現年度事後評価				
前年度												
現年度												

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****
実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	-	0.0000
決算	0.5900	-	-	-	-	-	*****	*****	0.5900

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 15時02分17秒 作成

担当課	401000 建設産業部・農林振興課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月15日		
係・氏名	農政係	牟田口政和	
直通番号・内線	942-1120	365	

(政策体系図)

基本目標	01 活気にぎわいあふれるまちづくり
政策	01 農林業の振興
施策	02 農地の保全
基本事業名	06 耕作放棄地対策事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			耕作放棄地の解消面積	MP前期	5	5	5	5	5	*****
		実施計画	3	5	5	-	-	-	-	*****
	単位	ha								
	結果		3.7	-	-	-	-	*****	*****	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	耕作放棄地の解消面積									
指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位:千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期	0	432	500	500	500
		実計(当初)	526	0	0	-	-	-	-	526
		決算	322	-	-	-	-	*****	*****	322
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	人件費関連	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	4,118	-	-	-	-	*****	*****	4,118
	歳出計①	MP前期	0	432	500	500	500	*****	*****	1,932
		実計(当初)	526	0	0	-	-	-	-	526
		決算	4,440	-	-	-	-	*****	*****	4,440
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	特財計②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	一般財源①-②	MP前期	0	432	500	500	500	*****	*****	1,932
		実計(当初)	526	0	0	-	-	-	-	526
		決算	4,440	-	-	-	-	*****	*****	4,440
	【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】									

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	01	農林業の振興
施 策	02	農地の保全
基本事業名	06	耕作放棄地対策事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	最終評価 4	農業従事者の減少により耕作放棄地が増加、周囲の農地にも悪影響を及ぼしていることから、市が耕作放棄地解消に取り組む必要性は高いと判断する。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	最終評価 4	農業委員会と連携して取り組みを進めており、効率性は高いと判断する。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 3	本年度は耕作放棄地を3.7ha解消できたことから、成果は概ねあったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度は高くなっている。耕作放棄地の増加防止、解消を図るべく、事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 15時02分20秒 作成

担当課	401000 建設産業部・農林振興課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月17日	
係・氏名	農林振興係	水上
直通番号・内線	092-942-1120	361

(政策体系図)

基本目標	01 活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	01 農林業の振興
施策	03 農業者・団体の育成・支援
基本事業名	03 農業経営支援事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	土地利用型農業者、認定農業者及び複数農業者組織	土地利用型農業の振興と経営安定を図りながら、農業用施設の改修に対する補助の実施により、農産物の品質向上による農業経営の安定・コスト削減を図る。
	事業内容 福岡県単独事業である「高収益型園芸産地育成事業補助」及び国の「経営体育成事業交付金事業」に基づく補助金交付を行った。 米の戸別所得補償制度に係る農業者支援事務、及び水田農業の経営安定・コスト削減のための補助を実施した。	
	事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来） 土地利用型農業の振興策としては、名をかえメニューをかえ長い歴史の中で様々な施策が取り組まれてきたことから、今後も農地を保全する観点から、土地利用型農業の振興は市の農業発展のためには必要である。 「高収益事業」平成12年度から。 「経営体育成事業」平成22年度から。 当該事業が継続されれば、採択希望者は増加してくる可能性が高いが、対象者が限られているため、倍増していくことは考えにくい。	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401000 建設産業部・農林振興課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月17日		
係・氏名	農林振興係	水上	
直通番号・内線	092-942-1120		361

(政策体系図)

基本目標	01 活気にぎわいあふれるまちづくり
政策	01 農林業の振興
施策	03 農業者・団体の育成・支援
基本事業名	03 農業経営支援事業

基本事業を構成する細事業	基本事業を構成する細事業名	年度	事前			事後評価			貢献度	補 足
			優先順位	必要性	効率性	成果	方向性			
							規模	経費		
基本事業を構成する細事業	1 水田農業経営確立対策事業費	前々年度							前々年度事後評価 前年度事後評価 現年度事前評価 現年度事後評価	
	人工数 0.0000	前年度								
	継続 臨時的経費 枠内	現年度	2	4	3	3	3	3		
	昭和63年度 ~									
	401000 建設産業部・農林振興課									
	2 農業経営資金貸付事業費	前々年度								
	人工数 0.0000	前年度								
	継続 経常的経費 枠内	現年度	3	4	3	4	3	3		
	平成10年度 ~									
	401000 建設産業部・農林振興課									
	3 高収益園芸補助金事業費	前々年度								
	人工数 0.0000	前年度								
継続 臨時的経費 枠外	現年度	1	4	3	3	3	3			
平成9年度 ~										
401000 建設産業部・農林振興課										
4 集落営農推進農業機械導入事業補助金事業費	前々年度									
人工数 0.0000	前年度									
継続 臨時的経費 枠外	現年度	5	4	3	3	3	3			
平成22年度 ~										
401000 建設産業部・農林振興課										
5 果樹振興補助金事業費	前々年度									
人工数 0.0000	前年度									
継続 経常的経費 枠内	現年度	4	4	3	3	3	3			
平成18年度 ~										
401000 建設産業部・農林振興課										
6 農業経営体育成事業補助金事業費	前々年度									
人工数 0.0000	前年度									
継続 臨時的経費 枠内	現年度	6	4	3	3	3	3			
平成22年度 ~										
401000 建設産業部・農林振興課										
7 古賀の元気おばちゃん支援事業費	前々年度									
人工数 0.0000	前年度									
新規 臨時的経費 枠外	現年度	7	4	3	3	3	3			
平成23年度 ~										
401000 建設産業部・農林振興課										
	前々年度									
	前年度									
	現年度									

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	0.0900	-	-	-	-	*****	*****	0.0900

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 15時02分20秒 作成

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月17日	
係・氏名	農林振興係	水上
直通番号・内線	092-942-1120	361

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	01	農林業の振興
施 策	03	農業者・団体の育成・支援
基本事業名	03	農業経営支援事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			指標①	補助制度利用者の満足度	MP前期 100	100	100	100	100	*****
		実設計画	100	100	100	-	-	-	-	*****
	単位 %	結 果	100	-	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	満足と感じている者/利用者									
指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実設計画								*****
	単位	結 果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実設計画								*****
	単位	結 果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

基本事業経費	内 訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期 19,881	16,781	10,781	7,688	7,688	*****
		実計(当初)	19,881	0	0	-	-	-	-	19,881
		決 算	14,538	-	-	-	-	*****	*****	14,538
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	人件費関連	MP前期	0	3,856	3,392	3,058	3,058	*****	*****	13,364
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	652	-	-	-	-	*****	*****	652
	歳出計 ①	MP前期	19,881	20,637	14,173	10,746	10,746	*****	*****	76,183
		実計(当初)	19,881	0	0	-	-	-	-	19,881
		決 算	15,190	-	-	-	-	*****	*****	15,190
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	4,693	6,000	0	0	0	*****	*****	10,693
		実計(当初)	4,693	0	0	-	-	-	-	4,693
		決 算	4,811	-	-	-	-	*****	*****	4,811
	市 債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	特財計 ②	MP前期	4,693	6,000	0	0	0	*****	*****	10,693
		実計(当初)	4,693	0	0	-	-	-	-	4,693
		決 算	4,811	-	-	-	-	*****	*****	4,811
	一般財源 ①-②	MP前期	15,188	14,637	14,173	10,746	10,746	*****	*****	65,490
		実計(当初)	15,188	0	0	-	-	-	-	15,188
		決 算	10,379	-	-	-	-	*****	*****	10,379
	【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】									

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	01	農林業の振興
施 策	03	農業者・団体の育成・支援
基本事業名	03	農業経営支援事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	最終評価 4	生産にかかる施設整備への支援については、経営基盤の強化のみならず担い手の確保や農地の保全にも寄与するものであり、必要性が高いと判断する。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	最終評価 3	生産内容や品質の向上を図る多くの補助事業を、県の支援と合わせて行っており、概ね効率的であったと判断する。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 3	本事業を実施することで、生産内容や品質の向上が進み、農業者の農業経営改善が図られたことから、成果は概ねあったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、元氣おばちゃん支援事業への市民の満足度は低かった。各種経営支援策の必要性は高いため、改善を加えながら事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 15時02分23秒 作成

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月20日		
係・氏名	農林振興係	水上	
直通番号・内線	092-942-1120		361

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	01	農林業の振興
施策	04	農産物の生産・消費拡大
基本事業名	01	地産地消推進事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
	地元農産物	地産地消を推進し、農業の振興と経営安定を図る
事業内容	事業内容	
	<p>学校給食への地元産農産物の導入拡大を図った。</p> <p>地元産農産物の販売促進のため、直売所「コスモス広場」への支援、地元産米の消費拡大として「新米さんいらっしやい事業」の継続を行った。</p>	
	事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）	
	<p>地元産農産物の消費拡大を行政が主体的に取り組むことは重要であることから、学校給食での導入や政策としての事業を実施することは必要である。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価補足	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度		
				規模	経費			
	<p>※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小</p>							

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401000 建設産業部・農林振興課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月20日		
係・氏名	農林振興係	水上	
直通番号・内線	092-942-1120	361	

(政策体系図)

基本目標	01 活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	01 農林業の振興
施策	04 農産物の生産・消費拡大
基本事業名	01 地産地消推進事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価				貢献度	補 足
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性			
						規模	経費		
1 学校給食食材提供者補助金事業費	前々年度								前々年度事後評価
	人工数 0.0000								
	継続 経常的経費 枠外								
	平成22年度 ~ 401000 建設産業部・農林振興課	現年度	2	4	3	3	3	3	
2 学校給食農産物使用推進事業費	前々年度								前年度事後評価
	人工数 0.0000								
	継続 経常的経費 枠内								
	401000 建設産業部・農林振興課	現年度	3	4	3	3	3	3	
3 新米さんいらっしやい事業費	前々年度								前年度事後評価
	人工数 0.0000								
	継続 臨時的経費 枠外								
	平成22年度 ~ 平成24年度 401000 建設産業部・農林振興課	現年度	5	4	3	3	0		
4 コスモス館管理運営事業費	前々年度								前年度事後評価
	人工数 0.0000								
	継続 経常的経費 枠内								
	401000 建設産業部・農林振興課	現年度	1	5	4	4	3	3	
5 コスモス館改良事業費	前々年度								現年度事前評価
	人工数 0.0000								
	新規 臨時的経費 枠外								
	平成23年度 ~ 平成23年度 401000 建設産業部・農林振興課	現年度	4	4	3	3	3	3	
基本事業を構成する細事業	前々年度								現年度事後評価
	前年度								
	現年度								
	前々年度								
基本事業を構成する細事業	前々年度								現年度事後評価
	前年度								
	現年度								
	前々年度								

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****
実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	-	0.0000
決算	0.9900	-	-	-	-	-	*****	*****	0.9900

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 15時02分23秒 作成

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月20日		
係・氏名	農林振興係	水上	
直通番号・内線	092-942-1120		361

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	01	農林業の振興
施策	04	農産物の生産・消費拡大
基本事業名	01	地産地消推進事業

指標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			コスモス館来館者数	MP前期	450000	450000	450000	450000	450000	*****
		実施計画	450000	450000	450000	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	425946	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
年間来館者数										
指標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			学校給食交流会開催回数	MP前期	2	2	2	2	2	*****
		実施計画	2	2	2	-	-	-	-	*****
	単位	回	結果	2	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
学校給食交流会開催回数										
指標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
				MP前期						*****
		実施計画								*****
	単位		結果					*****	*****	*****
	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								

(単位：千円)

内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
		直接事業費	MP前期	14,177	13,733	7,062	7,062	7,062	*****
	実計(当初)	14,177	13,733	7,062	-	-	-	-	34,972
	決算	13,137	-	-	-	-	*****	*****	13,137
共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
人件費関連	MP前期	846	846	0	0	0	*****	*****	1,692
	実計(当初)	0	846	0	-	-	-	-	846
	決算	6,995	-	-	-	-	*****	*****	6,995
歳出計 ①	MP前期	15,023	14,579	7,062	7,062	7,062	*****	*****	50,788
	実計(当初)	14,177	14,579	7,062	-	-	-	-	35,818
	決算	20,132	-	-	-	-	*****	*****	20,132
国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
その他特財	MP前期	5,895	5,895	5,895	5,895	5,895	*****	*****	29,475
	実計(当初)	5,895	5,895	5,895	-	-	-	-	17,685
	決算	5,508	-	-	-	-	*****	*****	5,508
特財計 ②	MP前期	5,895	5,895	5,895	5,895	5,895	*****	*****	29,475
	実計(当初)	5,895	5,895	5,895	-	-	-	-	17,685
	決算	5,508	-	-	-	-	*****	*****	5,508
一般財源 ①-②	MP前期	9,128	8,684	1,167	1,167	1,167	*****	*****	21,313
	実計(当初)	8,282	8,684	1,167	-	-	-	-	18,133
	決算	14,624	-	-	-	-	*****	*****	14,624
【補足（考え方（他市の状況）・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等）】									

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	401000	建設産業部・農林振興課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	01	農林業の振興
施 策	04	農産物の生産・消費拡大
基本事業名	01	地産地消推進事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	最終評価 4	地産地消は、地元農産物の消費拡大による農業振興、農村の活性化、農地の保全、市民の農業への理解促進につながるものであり、学校給食への利用においては児童生徒の食育にも活用されており、市として取り組む必要性が高いと判断する。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	最終評価 3	農産物直売所については、農業者等で組織された利用組合により運営されており、市はその運営の支援と施設の管理を行っている。また、学校給食については、給食センター、生産者、農協と連携して地場農産物利用の推進を図っていることから、効率性は概ねあると判断する。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 3	農産物直売所の売上や客数も多く、概ね成果はあったと判断する。「新米さんいらっしやい事業」では、地元産米を農産物直売所を介して贈呈することで新たな購買層を開拓する機会となった。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、新米さんいらっしやい事業に対する市民の満足度は低かった。今後は取り組み手法に改善を加えながら、地産地消推進のための事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 15時23分56秒 作成

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名		坂元 洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	02	商工業の振興
施 策	01	商工業の活性化
基本事業名	01	商工業活性化事業

事業内容	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	商工会員及び事業者に対して	経営指導や融資相談を行うことで事業者の育成振興及び商工会運営の向上を図ることや、市内の事業所で共通使用できる商品券を使用してもらい地元消費拡大することで地域経済の活性化を図る。
	事業内容	
	<p>商工会活動支援事業は、市が古賀市商工会に対し商工会活動支援のための補助金を交付する。事業内容は、会員巡回による経営相談、新たな事業展開に向けた支援、情報発信や地域ブランドづくりを通じた販路拡大支援等を行う。</p> <p>地域商品券発行補助事業については、古賀市商工会が、総額143百万円（H23年度）（500円券の22枚綴りで販売価格1万円（価値1万1千円））の商品券を発行及び販売する。一定の利用期間を設け市内で商品券を使用してもらうことで、市内における消費の喚起を図る。</p>	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
<p>商工会活動支援事業については、古賀市商工会に昭和55年度より補助金を交付している。商工会の組織運営は地区内小規模事業である会員事業者の会費をもって主たる財源としているが、中小・小規模企業の経営環境は厳しい状況が続いており今後も支援していく必要がある。</p> <p>地域商品券発行補助事業については、平成21年度に国による生活支援定額給付金を契機として、福岡県地域商品券による商店街活性化支援事業により商工会等がプレミアム付商品券を発行する経費について交付金を交付することでスタートし、市内の消費を増やすため、定額給付金支給に合わせ10%の上乗せをした古賀市内だけで利用できるプレミアム付商品券を発行した。平成23年度の市補助金額は9,000千円、県交付金は7,657千円である。</p>		

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名	坂元	洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	02	商工業の振興
施策	01	商工業の活性化
基本事業名	01	商工業活性化事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性		規模			経費
						規模	経費				
1 商工会活動支援事業費	前々年度									前々年度事後評価	
	人工数	0.0000									
	継続	経常的経費	枠内								
	昭和55年度 ~	401500	建設産業部・商工政策課	現年度	1	4	3	3	3		3
2 地域商品券発行補助金事業費	前々年度									前年度事後評価	
	人工数	0.0000									
	継続	臨時的経費	枠外								
	平成21年度 ~	401500	建設産業部・商工政策課	現年度	2	4	3	3	3		3
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事前評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事後評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****
実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	-	0.0000
決算	0.3800	-	-	-	-	-	*****	*****	0.3800

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 15時23分56秒 作成

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月15日	
係・氏名		坂元 洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01 活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	02 商工業の振興
施策	01 商工業の活性化
基本事業名	01 商工業活性化事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			製造品出荷額	MP前期	2200	2200	2300	2300	2300	
		実施計画	2200	2200	2300	-	-	-	-	*****
	単位	億円								*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	製造品出荷額	工業統計調査による、直近ではH21年1,988億円								
	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	卸売・小売の年間商品販売額	MP前期			900			*****	*****	
		実施計画			900	-	-	-	-	*****
	単位	万円								*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	卸売・小売の年間商品販売額	商業統計調査(3年毎)で直近ではH19年898億円								
	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画						*****	*****	*****
	単位							*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計	
			歳出	直接事業費	MP前期	17,885	17,885	17,885	17,885	17,885	*****
		実計(当初)	17,883	17,885	17,885	-	-	-	-	-	53,653
		決算	17,885	-	-	-	-	*****	*****	*****	17,885
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
	人件費関連	MP前期	3,393	3,393	3,393	3,393	3,393	*****	*****	16,965	
		実計(当初)	0	3,393	3,393	-	-	-	-	-	6,786
		決算	3,393	-	-	-	-	*****	*****	*****	3,393
	歳出計 ①	MP前期	21,278	21,278	21,278	21,278	21,278	*****	*****	106,390	
		実計(当初)	17,883	21,278	21,278	-	-	-	-	-	60,439
		決算	21,278	-	-	-	-	*****	*****	*****	21,278
	歳入	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	国庫支出金	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	2	0	0	-	-	-	-	-	2
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
	特財計 ②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
		実計(当初)	2	0	0	-	-	-	-	-	2
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	*****	0
	一般財源 ①-②	MP前期	21,278	21,278	21,278	21,278	21,278	*****	*****	106,390	
		実計(当初)	17,881	21,278	21,278	-	-	-	-	-	60,437
		決算	21,278	-	-	-	-	*****	*****	*****	21,278
	【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	02	商工業の振興
施 策	01	商工業の活性化
基本事業名	01	商工業活性化事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	最終評価 3	商工業の活性化による持続可能な力強い自治体を目指しており、市内事業所の活性化を図る意味からも継続する必要性が概ねあると判断する。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要性が概ねある事業、 2：市として実施する必要性があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業	
効率性	最終評価 3	市内事業者の支援については商工会と連携して実施しており、また、地域商品券は県の支援制度も活用して実施しており、概ね効率的であると判断する。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業	
成果	最終評価 3	商工会活動の支援や地域商品券の発行により、商工業の活性化に一定の成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業	

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、地域商品券の発行支援に対する市民の満足度は低い。今後は市民への周知を行いながら改善を加え、事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 15時23分59秒 作成

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名	坂元 洋一郎	
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01 活気にぎわいあふれるまちづくり
政 策	02 商工業の振興
施 策	01 商工業の活性化
基本事業名	02 地元産品販路拡大事業

	事 業 概 要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事 業 内 容	市内外消費者に対して	商工業の振興と活性化のために農産・商工産品の紹介、販売を行う。
	事 業 内 容	
	<p>「古賀市食のまつり」は、古賀市内の食品関連企業及び飲料店等と市民の交流を深めるとともに、商工業の振興に資するため、古賀市食のまつり実行委員会に補助金を交付する。</p> <p>「まつり古賀」は、市、商工会、JAでまつり古賀実行委員会を構成する。実行委員会、企画委員会を開催し11月第3週に開催する。 「まつり古賀」は、市民と農林業・工業・商業の交流の場であり、地元産品の展示・PRや販売できるイベントとして定着し、参加者が最も多い行事である。</p> <p>「古賀SA特産品販売」は、九州自動車道上り古賀SAにおいて、古賀市の特産品を販売し、古賀市外に広くPRする。</p>	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
<p>「古賀市食のまつり」は、平成15年度より県内有数の工業団地の存在を広く市民に知ってもらうために食品を切り口に「食品フェア」としてスタートした。 平成22年度からは工業団地で生産された食品を始め、市内で製造・販売されている様々な食に関わる商品、農産品にかかる関係者に出店を願い、また市民に市内全域の「食」を紹介していくという趣旨で「古賀市食のまつり」に名称変更し開催した。</p> <p>「まつり古賀」は、市内の商工業、農林業と市民の交流を目的として開催し、商工業ならびに農林業の振興に資するために昭和60年度の第1回から補助金が交付されており、平成23年度で27回目を迎える。</p> <p>「古賀SA特産品販売」は、九州自動車道上り古賀SAにおいて、古賀市の特産品を販売し、古賀市外に広くPRする。平成23年10、11月の行楽シーズンに試行的に実施する。</p>		

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名	坂元 洋一郎	
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	02	商工業の振興
施策	01	商工業の活性化
基本事業名	02	地元産品販路拡大事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価				貢献度	補 足			
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性						
						規模	経費					
1 食のまつり事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内 平成15年度 ~ 401500 建設産業部・商工政策課	前々年度								前々年度事後評価			
	前年度											
	現年度	2	4	3	3	2	4	3		4		
	401500 建設産業部・商工政策課											
2 まつり古賀事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内 昭和60年度 ~ 401500 建設産業部・商工政策課	前々年度									前年度事後評価		
	前年度											
	現年度	1	4	3	3	2	4	3			4	
	401500 建設産業部・商工政策課											
3 古賀SA特産品販売事業費 人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠内 401500 建設産業部・商工政策課	前々年度										現年度事前評価	
	前年度											
	現年度	3	4	4	4	2	4	3				4
	401500 建設産業部・商工政策課											
	前々年度								現年度事後評価			
	前年度											
	現年度											
	前々年度									特産品などの販売を通じ、古賀市の強味であるモノづくり力をアピールすることが出来た。		
	前年度											
	現年度											
	前々年度											
	前年度											
	現年度											
	前々年度											
	前年度											
	現年度											

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決算	1.5400	-	-	-	-	*****	*****	1.5400

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 15時23分59秒 作成

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名		坂元 洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	02	商工業の振興
施 策	01	商工業の活性化
基本事業名	02	地元産品販路拡大事業

指標名	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			まつり古賀参加者数	MP前期	40000	40000	40000	40000	40000	*****
	実施計画	40000	40000	40000	-	-	-	-	*****	
	単位	人	結 果	40000	-	-	-	*****	*****	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	まつり古賀参加者数									
指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	食のまつり参加者数	MP前期	5000	5000	5000	5000	5000	*****	*****	
	実施計画	5000	5000	5000	-	-	-	-	*****	
	単位	人	結 果	2000	-	-	-	*****	*****	*****
指標②	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	食のまつり参加者数									
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
	実施計画								*****	
	単位	結 果					*****	*****	*****	
指標③	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

内 訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
		直接事業費	MP前期	3,098	3,098	3,098	3,098	3,098	*****
	実計(当初)	2,300	3,098	3,098	-	-	-	-	8,496
	決 算	3,098	-	-	-	-	*****	*****	3,098
共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
人件費関連	MP前期	11,492	11,492	11,492	11,492	11,492	*****	*****	57,460
	実計(当初)	0	11,492	11,492	-	-	-	-	22,984
	決 算	11,492	-	-	-	-	*****	*****	11,492
歳出計 ①	MP前期	14,590	14,590	14,590	14,590	14,590	*****	*****	72,950
	実計(当初)	2,300	14,590	14,590	-	-	-	-	31,480
	決 算	14,590	-	-	-	-	*****	*****	14,590
国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決 算	798	-	-	-	-	*****	*****	798
市 債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
特財計 ②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	決 算	798	-	-	-	-	*****	*****	798
一般財源 ①-②	MP前期	14,590	14,590	14,590	14,590	14,590	*****	*****	72,950
	実計(当初)	2,300	14,590	14,590	-	-	-	-	31,480
	決 算	13,792	-	-	-	-	*****	*****	13,792
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】									

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	02	商工業の振興
施 策	01	商工業の活性化
基本事業名	02	地元産品販路拡大大事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	最終評価 4	市内外のたくさんの人々に特産品などの展示、PRや販売を行うことが出来、市民と商工業・農林業の交流の場を提供しており、必要性が高い。
	評価基準	5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業
効率性	最終評価 3	商工会、JA、観光協会と共働で各種イベントを企画・運営し、多くの来場者数につながっており、概ね効率的であると判断する。
	評価基準	4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業
成果	最終評価 3	各イベントには多くの出店があり、来場者も多い。目標は概ね達成していると判断する。
	評価基準	4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	2	4	3	事業満足度調査では、まつり古賀の市民満足度は高く、食のまつりの満足度はやや低い。経費は抑えながら、より効果が出るよう事業を継続されたい。
	※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小			

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 15時24分02秒 作成

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月27日	
係・氏名	坂元 洋一郎	
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01 活気にぎわいあふれるまちづくり
政策	02 商工業の振興
施策	01 商工業の活性化
基本事業名	03 商店街活性化事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	商店街、商店主等に対して	衰退する中心市街地商店街の活性化対策の研究やイベント等を実施することで商店主の連携・結束の強化による人材育成と市民との交流を促進し商店街の活性化を図る
	事業内容 駅前憩いの広場については、利用時間は9時から18時までで、使用料は、2時間につき1,000円である。利用手続きは、商工政策課において利用する日の3ヶ月前から受付を行っている。また、年間契約でシルバー人材センターに清掃委託を行っている。 商店街イベント支援事業については、商工会のまちづくり企画委員会において、商店街活性化のため、様々なイベントを企画実施している。主な内容として、ヤミツキ市、土曜夜市、クリスマス市民祭、一店逸品運動事業等を実施している。	
	事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来） 市内の事業所と地域社会との融和を図り、地域住民のコミュニティづくりに資するために平成12年度に古賀市商工会前に駅前憩いの広場を設置した。 商店街イベント支援事業については、様々な企画・イベントを実施し、人を商店街へ導き、賑わい、元気を創り出すことを目的に、平成6年度より補助金の交付を開始し、商工会でまちづくり企画委員会を組織し、事業を展開している。	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価		施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性	貢献度	補	足
				規模		経費	
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小							

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月27日	
係・氏名	坂元 洋一郎	
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	02	商工業の振興
施策	01	商工業の活性化
基本事業名	03	商店街活性化事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前				事後評価			貢献度	補 足
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性				
						規模	経費			
1 商店街イベント支援事業費	前々年度									
	前年度									
人工数 0.0000	前年度									
継続 経常的経費 枠内	前年度									
平成6年度～	現年度	1	4	3	3	3		3		
401500 建設産業部・商工政策課	現年度									
2 駅前いこいの広場管理運営事業費	前々年度									
	前年度									
人工数 0.0000	前年度									
継続 経常的経費 枠内	前年度									
平成12年度～	現年度	2	4	2	2	3		2		
401500 建設産業部・商工政策課	現年度									
基本事業を構成する細事業	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									
	前々年度									
	前年度									
	現年度									

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
決算	0.0700	-	-	-	-	-	*****	*****	0.0700

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月27日	
係・氏名		坂元 洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	02	商工業の振興
施策	01	商工業の活性化
基本事業名	03	商店街活性化事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			指標①	イベント来場者数	MP前期 5000	5000	5000	5000	5000	*****
		実施計画	5000	5000	5000	-	-	-	-	*****
	単位	人	結果	5000	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
	イベント来場者数	土曜夜市、クリスマス民祭、ヤミツキ市などによる来場者数								
指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画						*****	*****	*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画						*****	*****	*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足（考え方（他市の状況等）・今後の計画・変更した場合の変更理由等）】								

(単位：千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期 1,278	1,278	1,278	1,278	1,278	*****
		実計(当初)	1,349	1,278	1,278	-	-	-	-	3,905
		決算	1,278	-	-	-	-	*****	*****	1,278
	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	人件費関連	MP前期	514	514	514	514	514	*****	*****	2,570
		実計(当初)	0	514	514	-	-	-	-	1,028
		決算	514	-	-	-	-	*****	*****	514
	歳出計 ①	MP前期	1,792	1,792	1,792	1,792	1,792	*****	*****	8,960
		実計(当初)	1,349	1,792	1,792	-	-	-	-	4,933
		決算	1,792	-	-	-	-	*****	*****	1,792
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	1	0	0	-	-	-	-	1
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
特財計 ②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	1	0	0	-	-	-	-	1	
	決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0	
一般財源 ①-②	MP前期	1,792	1,792	1,792	1,792	1,792	*****	*****	8,960	
	実計(当初)	1,348	1,792	1,792	-	-	-	-	4,932	
	決算	1,792	-	-	-	-	*****	*****	1,792	
【補足（考え方（他市の状況）・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等）】										

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	02	商工業の振興
施策	01	商工業の活性化
基本事業名	03	商店街活性化事業

評価区分	評価点		その理由
必要性	最終評価	3	様々なイベントの開催を支援することにより、商店街が賑わいと元気を創出し活性化されるとともに、本市の玄関口としての賑わいも創出することから、必要性が概ねあると判断する。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要性が概ねある事業、 2：市として実施する必要性があまりない事業、1：市として実施する必要性がない事業		
効率性	最終評価	3	各イベントを商工会と連携して実施しており、概ね効率性はあったと判断する。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業		
成果	最終評価	3	各イベントを通じて、多くの来場者に商店街のPRと利用機会の創出ができたことから、概ね成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業		

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度はやや高かった。今後とも商工会と連携して事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 15時24分05秒 作成

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名	坂元 洋一郎	
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01	活気にぎわいあふれるまちづくり
政策	03	観光の振興
施策	01	観光の活性化
基本事業名	01	観光情報発信事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事業内容	市民や観光客	観光情報を市内外に広く発信する。
	事業内容	
	<p>市内の観光資源の発掘・創設並びに紹介により市内外から多くの観光客を誘引するため、以下の事業を行っている。</p> <p>古賀市観光協会へ補助金を交付し、イベントカレンダーの製作発行やバスハイク等のイベントを開催し、市内外からの観光客を誘致する。また観光関係団体（福岡地区観光協議会、県観光連盟、県観光推進協議会、玄海地区観光推進協議会）による広域的な観光宣伝事業等により広く古賀市をPRしている。</p> <p>観光案内所運営事業は、市の主要な駅であるJR古賀駅の改札口の前に、市の観光PRや情報発信の起点となる観光案内所及び特産品などの販売事業を展開する販売所を設置し、運営を古賀市観光協会に委託する。観光案内所において案内業務、販売業務を行う。</p>	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
<p>市内外への情報発信やイベント等により古賀市を広くPRし市内外の観光客を呼び込むため、平成17年2月に古賀市観光協会が設立された。</p> <p>主な活動内容は、情報誌（イベントカレンダー）の発行、情報展示コーナーの充実、バスハイクなどである。</p> <p>観光案内所運営事業は、JR古賀駅の改札口の前に、市の観光PRや情報発信の起点となる観光案内所及び特産品などの販売事業を展開する販売所を設置し、運営を古賀市観光協会に委託する。観光案内所において案内業務、販売業務を行う。</p>		

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

[2 / 4]

平成24年09月05日 15時24分05秒 作成

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名	坂元 洋一郎	
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01 活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	03 観光の振興
施策	01 観光の活性化
基本事業名	01 観光情報発信事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性		規模			経費
						規模	経費				
1 観光情報発信事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前々年度									前々年度事後評価	
	前年度										
	現年度	1	4	3	3	3			3		
	401500 建設産業部・商工政策課										
2 観光案内所管理運営事業費 人工数 0.0000 新規 臨時的経費 枠外 平成22年度 ~ 平成23年度	前々年度									前年度事後評価	
	前年度										
	現年度	2	4	3	2	2	3	2	3		
	401500 建設産業部・商工政策課										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事前評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
	前年度										
	現年度										
前々年度									現年度事後評価		
前年度											
現年度											
前々年度											
前年度											
現年度											
前々年度											
前年度											
現年度											
前々年度											
前年度											
現年度											

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****	0.0000
	実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	0.0000
	決 算	0.1200	-	-	-	-	*****	*****	0.1200

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 15時24分05秒 作成

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名		坂元 洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	01 活気とにぎわいあふれるまちづくり
政策	03 観光の振興
施策	01 観光の活性化
基本事業名	01 観光情報発信事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			観光入込客数/薬王寺温泉	MP前期	90000	90000	90000	90000	90000	*****
		実施計画	90000	90000	90000	-	-	-	-	*****
	単位	人								
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	観光入込客数/薬王寺温泉	※データ反映に2年を要する。直近データ：平成22年度81,022人								
	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

基本事業経費	内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			直接事業費	MP前期	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	*****
	実計(当初)	7,992	7,910	7,910	-	-	-	-	-	23,812
	決算	7,910	-	-	-	-	*****	*****	7,910	
歳出	共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
人件費関連	MP前期	957	957	957	957	957	*****	*****	4,785	
		実計(当初)	0	957	957	-	-	-	-	1,914
		決算	957	-	-	-	-	*****	*****	957
歳出計 ①	MP前期	8,867	8,867	8,867	8,867	8,867	*****	*****	44,335	
		実計(当初)	7,992	8,867	8,867	-	-	-	-	25,726
		決算	8,867	-	-	-	-	*****	*****	8,867
歳入	国庫支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	6,274	0	0	-	-	-	-	6,274
		決算	6,273	-	-	-	-	*****	*****	6,273
	市債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
特財計 ②	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	6,274	0	0	-	-	-	-	6,274	
	決算	6,273	-	-	-	-	*****	*****	6,273	
一般財源 ①-②	MP前期	8,867	8,867	8,867	8,867	8,867	*****	*****	44,335	
	実計(当初)	1,718	8,867	8,867	-	-	-	-	19,452	
	決算	2,594	-	-	-	-	*****	*****	2,594	
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	01	活気とにぎわいあふれるまちづくり
政 策	03	観光の振興
施 策	01	観光の活性化
基本事業名	01	観光情報発信事業

評価区分	評価点		その理由
必要性	最終評価	3	市内の観光資源の情報発信を行うことは、観光客を誘引することにつながるため、必要性は概ねあると判断する。
	評価基準 5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要性が概ねある事業、 2：市として実施する必要性があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業		
効率性	最終評価	3	観光情報発信や観光案内所運営を観光協会や観光関係団体と連携して実施しており、概ね効率的であると判断する。
	評価基準 4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業		
成果	最終評価	3	観光協会や観光関係団体と連携して情報発信を実施し、観光客の誘引に寄与したことから、概ね成果があったと判断する。
	評価基準 4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業		

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、今後も継続して事業を実施されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名		坂元 洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	06 すこやかで元気あふれるまちづくり
政策	07 生活支援の充実
施策	02 就労の支援
基本事業名	01 就労支援事業

	事業概要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
	求職者	新たな事業を創出することや、無料での就職情報に関する閲覧、提供及び相談を行うことで就労を支援する。
事業内容	事業内容	
	<p>【無料職業紹介所】 古賀市無料職業紹介所を総務課なんでもきく係横に設置している。 窓口開設日時は、毎週月曜から金曜までの10時～15時半である。閲覧は、市役所の開庁時間と同じである。 就職相談員を配置し、窓口業務や企業訪問などを行っている。 業務内容は、求職者に対して求人票の閲覧や相談者への仕事の相談・紹介を行っている。 就職相談を利用することができる者は、古賀市内に居住している者及び就職後古賀市に居住する者である。</p> <p>【住宅手当】 月々の求職活動状況を確認したうえ、生活保護住宅扶助基準額の範囲で月々の賃貸物件家賃を、最長6ヶ月（真摯な態度で求職活動を行いさらに支援を要する者は3ヶ月の延長あり）、家屋管理者の口座に直接振り込む。</p> <p>【緊急雇用創出】 緊急雇用創出事業は、国が平成20年度第2次補正予算において「緊急雇用創出事業」「ふるさと雇用再生特別交付金」を計上したことを受け、県が基金を創設している。</p>	
事業内容	事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）	
	<p>無料職業紹介所事務は、これまで、行政が行う職業安定法（職安法）第4条第1項による職業紹介は、国の業務としてハローワークのみが行い、地方自治体が行うことが出来なかった。 平成16年3月の法改正により二重行政としない範囲で、当該地方自治体が必要な職業紹介を行うことが可能になった。 当市では、福岡県内で北九州市、福岡市に次ぎ平成17年6月より事業を開始した。 採用決定者は、平成20年度292名、平成21年度313名、平成22年度335名、平成23年度382名と増加している。</p> <p>緊急雇用創出事業は、国が生活防衛のための緊急対策として平成20年度第2次補正予算において「緊急雇用創出事業」「ふるさと雇用再生特別交付金」を計上したことを受け、県が基金を創設し、次の事業を行っている。 「緊急雇用創出事業」は非正規労働者、中高年齢者等の一時的な雇用就業機会の創出を目的とし、地方公共団体が民間企業、シルバー人材センター等に事業を委託（直接実施も可）し、非正規労働者等のための次の雇用へのつなぎの雇用就業機会の創出を行う事業を対象とする。 「ふるさと雇用再生特別交付金」は、地域における雇用機会の創出を目的とし、今後の地域の発展に資すると見込まれる事業のうち、その後の事業継続が見込まれるものを事業の対象とする。実施期間は3年以内。補助率は10分の10である。 古賀市において平成23年度は「緊急雇用創出事業」16事業、「ふるさと雇用再生特別交付金」4事業の計20事業を行っている。</p>	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施策評価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401500 建設産業部・商工政策課
-----	--------------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名	坂元 洋一郎	
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	06 すこやかで元気あふれるまちづくり
政策	07 生活支援の充実
施策	02 就労の支援
基本事業名	01 就労支援事業

基本事業を構成する細事業名	年度	事前		事後評価					貢献度	補 足	
		優先順位	必要性	効率性	成果	方向性		規模			経費
						規模	経費				
1 就労サポート講座事業費 人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠内	前々年度									前々年度事後評価	
	前年度										
	現年度	4	4	3	4	3			3		
	308000 保健福祉部・隣保館										
2 無料職業紹介所事業費 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内 平成17年度～	前々年度									前年度事後評価	
	前年度										
	現年度	1	4	4	4	3			4		
	401500 建設産業部・商工政策課 緊急雇用創出事業										
3 人工数 0.0000 継続 臨時的経費 枠内 平成20年度～平成23年度	前々年度									前年度事後評価	
	前年度										
	現年度	2	4	4	4	0			4		
	401500 建設産業部・商工政策課 若年者専修学校等技能習得資金貸付事業費										
4 人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前々年度									前年度事後評価	
	前年度										
	現年度	3	4	3	3	3			3		
	702010 教育部・学校教育課・学										
基本事業を構成する細事業	前々年度									現年度事前評価	
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
	前年度										
	現年度										
	前々年度										
	前年度										
	現年度										
現年度事後評価											
無料職業紹介所の開設や緊急雇用の創出などにより雇用促進が図られている。											

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小
 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

人工数	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	MP前期	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*****	*****
実計(当初)	0.0000	0.0000	0.0000	-	-	-	-	-	0.0000
決算	0.9700	-	-	-	-	-	*****	*****	0.9700

平成23年度 基本事業管理表

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

記入年月日	平成24年08月22日	
係・氏名		坂元 洋一郎
直通番号・内線	358	

(政策体系図)

基本目標	06	すこやかで元気あふれるまちづくり
政策	07	生活支援の充実
施策	02	就労の支援
基本事業名	01	就労支援事業

指標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H26年度
			就職者数	MP前期	350	400	450	500	500	*****
		実施計画	350	400	450	-	-	-	-	*****
	単位	結果	382	-	-	-	-	*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
基本事業目標	就職者数									
指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	*****
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
基本事業目標										
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						*****	*****
		実施計画								*****
	単位	結果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
基本事業目標										

(単位：千円)

内訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計	
		直接事業費	MP前期	9,138	9,138	9,138	9,138	9,138	*****	*****
	実計(当初)	10,832	9,138	9,138	-	-	-	-	29,108	
	決算	9,138	-	-	-	-	*****	*****	9,138	
共通事務費	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0	
	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0	
	決算	100	-	-	-	-	*****	*****	100	
人件費関連	MP前期	6,662	6,662	6,662	6,662	6,662	*****	*****	33,310	
	実計(当初)	0	6,662	6,662	-	-	-	-	13,324	
	決算	6,662	-	-	-	-	*****	*****	6,662	
歳出計①	MP前期	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	*****	*****	79,000	
	実計(当初)	10,832	15,800	15,800	-	-	-	-	42,432	
	決算	15,900	-	-	-	-	*****	*****	15,900	
基本事業経費	歳出	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
		MP前期	0	799	799	1,198	1,198	*****	*****	3,994
		実計(当初)	869	0	0	-	-	-	-	869
		決算	1,501	-	-	-	-	*****	*****	1,501
	歳入	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
		MP前期	0	132	132	132	132	*****	*****	528
		実計(当初)	132	0	0	-	-	-	-	132
		決算	10	-	-	-	-	*****	*****	10
MP前期	0	931	931	1,330	1,330	*****	*****	4,522		
実計(当初)	1,001	0	0	-	-	-	-	1,001		
決算	1,511	-	-	-	-	*****	*****	1,511		
MP前期	15,800	14,869	14,869	14,470	14,470	*****	*****	74,478		
実計(当初)	9,831	15,800	15,800	-	-	-	-	41,431		
決算	14,389	-	-	-	-	*****	*****	14,389		
【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】										

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	401500	建設産業部・商工政策課
-----	--------	-------------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	06	すこやかで元気あふれるまちづくり
政 策	07	生活支援の充実
施 策	02	就労の支援
基本事業名	01	就労支援事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	最終評価 4	無料職業紹介所では、独自の企業マッチング（職業紹介）により、相談員がその人にあった求人情報を探し紹介しており、市としても必要な事業である。
	評価基準	5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業
効率性	最終評価 4	無料職業紹介所を開設することにより、毎年就職決定者数も伸びている。また、県の緊急雇用創出事業を活用することにより、多くの雇用促進が図られ、効率的であると判断する。
	評価基準	4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業
成果	最終評価 3	無料職業紹介所の就職者数も平成22年度335人から平成23年度382人と伸びており、また、緊急雇用創出事業においても64人の雇用を創出することができたことから、概ね成果があったと判断する。
	評価基準	4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	3	—	—	事業満足度調査では、無料職業紹介所の就労支援事業に対する市民の満足度が高かった。今後とも、国や県と連携を図りながら事業を継続されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				

平成23年度 基本事業管理表

[1 / 4]

平成24年09月05日 16時01分11秒 作成

担当課	403000	建設産業部・建設課
-----	--------	-----------

記入年月日	平成24年08月17日		
係・氏名	管理係	吉 永 誠	
直通番号・内線	942-1117		354

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなで作るまちづくり
政 策	05	適正な行財政運営の推進
施 策	21	その他
基本事業名	05	地籍調査事業

	事 業 概 要	
	対象（誰・何に対して）	どのようにしたいのか
事 業 内 容	市内の全ての土地	1筆毎に調査して境界立会を行い地積を確定する
	事 業 内 容	
	<p>古賀市のすべての土地について一筆ごとに境界立会を行い地積を確定させる事業。 対象面積は約38.44平方キロメートル（3,844ha） 調査期間は約35年 総事業費は約12億円（国費2/4, 県費1/4, 市費1/4）</p> <p>平成23年度は地籍調査に関する計画（A工程）、事業の準備（B工程）を行う計画（A、B工程については補助がつかない）。 議会や行政区、関係官庁、関係各課との連絡調整、先進地の視察等も行う。</p>	
事業の経緯及び今後の展望（開始～現在～将来）		
	平成23年度より準備工を開始し、平成25年度より現地調査を開始する予定。	

前々年度事後評価結果	基本事業評価			施策からみた基本事業評価			施 策 評 価	
	必要性	効率性	成果	方向性		貢献度	補	足
			規模	経費				
	※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小							

平成23年度 基本事業管理表

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時01分11秒 作成

担当課	403000	建設産業部・建設課
-----	--------	-----------

記入年月日	平成24年08月17日		
係・氏名	管理係	吉 永 誠	
直通番号・内線	942-1117		354

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなで作るまちづくり
政 策	05	適正な行財政運営の推進
施 策	21	その他
基本事業名	05	地籍調査事業

基本事業目標	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			地籍調査準備	MP前期	15	85				
		実施計画	15			-	-	-	-	*****
	単位 %	結 果	15	-	-	-	-	-	-	*****
指標①	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	事前準備進捗度									
指標②	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	地籍調査	MP前期			1.1	1.1	1.1	*****	*****	
		実施計画				-	-	-	-	*****
	単位 km2	結 果		-	-	-	-	-	-	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								
	調査面積									
指標③	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		MP前期						*****	*****	
		実施計画								*****
	単位	結 果						*****	*****	*****
	指標式	【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】								

(単位：千円)

基本事業経費	内 訳	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
			歳出	直接事業費	MP前期	0	35,000	35,000	35,000	35,000
		実計(当初)	576	0	0	-	-	-	-	576
		決 算	81	-	-	-	-	*****	*****	81
	共通事務費	MP前期	0	125	125	125	125	*****	*****	500
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	23	-	-	-	-	*****	*****	23
	人件費関連	MP前期	0	2,557	2,557	2,557	2,557	*****	*****	10,228
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	3,800	-	-	-	-	*****	*****	3,800
	歳出計 ①	MP前期	0	37,682	37,682	37,682	37,682	*****	*****	150,728
		実計(当初)	576	0	0	-	-	-	-	576
		決 算	3,904	-	-	-	-	*****	*****	3,904
歳入	国庫支出金	MP前期	0	17,500	17,500	17,500	17,500	*****	*****	70,000
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	県支出金	MP前期	0	8,750	8,750	8,750	8,750	*****	*****	35,000
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	市 債	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	その他特財	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	特財計 ②	MP前期	0	26,250	26,250	26,250	26,250	*****	*****	105,000
		実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
		決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	一般財源 ①-②	MP前期	0	11,432	11,432	11,432	11,432	*****	*****	45,728
		実計(当初)	576	0	0	-	-	-	-	576
		決 算	3,904	-	-	-	-	*****	*****	3,904
	【補足(考え方(他市の状況)・今後の計画・計画と予算に大きな違いがある場合の理由等)】									

平成23年度 基本事業管理表

[4 / 4]

担当課	403000	建設産業部・建設課
-----	--------	-----------

最終評価年月日	平成24年8月6日	
二次評価者	建設産業部長	洪田 安広
最終評価者	経営改革推進本部	

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなで作るまちづくり
政 策	05	適正な行財政運営の推進
施 策	21	その他
基本事業名	05	地籍調査事業

評価区分	評価点	その理由
必要性	最終評価 4	土地境界のトラブル防止や災害等による土地形状の変容の復元など、一筆ごとの土地情報をデータ化し管理していくことは官民共に必要性が高い。
	評価基準	5：実施が義務付けられた事業、4：市が実施する必要がある事業、3：市が実施する必要が概ねある事業、 2：市として実施する必要があまりない事業、1：市として実施する必要がない事業
効率性	最終評価 3	平成25年の事業着手に向け、平成24年度に策定する基本計画に必要な各種情報収集や基本データの集約などの準備を、最小限の経費で行っており、概ね効率性があると判断する。
	評価基準	4：費用対効果が得られた事業、3：費用対効果が概ね得られた事業、2：費用対効果があまり得られていない事業、 1：費用対効果が得られていない事業
成果	最終評価 3	平成23年度に実施予定であった研修、情報収集、公図整理、データ集約作業等の事項については完了し、概ね成果があったと判断する。
	評価基準	4：目標を達成している事業、3：目標を概ね達成している事業、2：目標をあまり達成できていない事業、 1：目標を達成できていない事業

今後の方向性	方向性			評価者コメント
	最終評価	規模	経費	
	2	4	4	事業満足度調査では、市民の満足度はやや高かった。平成25年度から事業着手予定であり、事務量、事業費の増大が見込まれることから、今後は事業を拡充のうえ実施されたい。
※ 方向性 3：現状維持、2：見直しのうえ継続、1：廃止、0：終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4：拡大、3：維持、2：縮小 経費 … 4：拡大、3：維持、2：縮小				